

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 上園 晶一 東京慈恵会医科大学麻酔科学講座 主任教授

研究要旨

慢性疼痛の評価には感覚要素だけでなく、情動、認知、生活の質など多面的な評価が必要であり、これらのデータを用いて慢性疼痛診療体制の構築、評価、改善を行う必要がある。本学では、全ての慢性疼痛患者を対象に9種類の心理物理学的指標を用いてこれらの情報を取得し、数年間に渡り蓄積してきた、2019年度には615回分、通算で4,899回分のデータを蓄積した。これらのパラメータの平均値を経時的に評価しても、慢性疼痛診療の有効性を支持する知見を現在のところ得られていない。今後は、各指標に対して多くの交絡因子を考慮しながら疾患毎、治療方法毎の解析を行い、慢性疼痛を診療するために最も好ましい診療内容及び体制は何か、という疑問に答えられる研究を推進していきたい。また、全国の集計データのフィードバックおよび出版が強く望まれる。

A．研究目的

本学にて開始した慢性疼痛診療システムの臨床的効果を確認するため、全ての初診患者のうち慢性疼痛と診断される患者から複数の心理物理学的係数を取得し、疾患毎、治療法毎の治療有効性を示すパラメータを抽出すること。このデータを基に、慢性疼痛診療の理想的なあり方を科学的に検証すること。

B．研究方法

全ての初診患者および昨年度からの再診患者を対象に、複数種の心理物理学的質問票を診察前に記載させ、個々のパラメータを記録した。痛み発症から3か月以内の明白な急性痛患者を除外した。初診、3か月後、6か月後、12か月後、18か月後に同じ質問票の記載を繰り返させ、治療効果の推移を判定する指標として用いた。

質問票のリストは下記の通りである。

1. Brief Pain Inventory
2. Pain Disability Assessment Scale
3. Hospital Anxiety and Depression Score
4. Pain Catastrophizing Scale
5. EQ-5D-3L
6. Pain Self-Efficacy Questionnaire
7. Athens Insomnia Scale
8. 口コミ 25(日本整形外科学会)
9. Zarit Burden Interview

これらに加え、全ての患者を対象に診察毎

に McGill Pain Questionnaire Short Form および痛みの強さの visual analogue scale score を記載させ記録した。

（倫理面への配慮）

全てのデータを匿名化した後にパーソナルコンピュータ上のデータベースソフトウェアに蓄積した。定期的に代表研究者の施設に集計データを送付した。

C．研究結果

2019年度の1年間に、のべ615回の心理物理学的データを取得した。従来からの蓄積データと合わせて、総計4,899回のデータを蓄積した。平均値だけを観察すれば、全体として各スコアが初診時から再診時にかけて緩徐な変化を示すものの、明白な疼痛改善傾向や各種パラメータの改善を特定することができない。一方、代表研究者の施設に集積された全国からのデータの解析結果に関しては未だ知らされていない。

D．考察

現在までのデータ蓄積及び集計方法では、本学で行っている学際的慢性疼痛診療法の有効性を検証することができない。慢性疼痛患者には様々な属性や背景因子があり、原疾患も多岐にわたるため、これら全てを交絡因子として用いて厳密な統計学的解析を行わなければ、一定の結論を得ることが出来ないと考

えられる。したがって、今後は本学における全てのデータを独自に解析し、疾患毎、患者属性毎、治療法毎の治療効果を見極める必要がある。

また、全国の集計データを取り扱った統計解析が極めて重要であり、そのフィードバックが切に求められる。代表研究者の施設での速やかな解析を期待したい。

E . 結論

慢性疼痛患者を対象に各種心理物理学的指標による症状経過推移を記録した。これを用いて慢性疼痛診療体制を裏付ける新たなエビデンスを創出する必要がある。今後は本学の5,000回分を超えるデータを独自に分析し慢性疼痛診療体制構築・改善の一助としたい。また、全国のデータ集計および出版を切に期待する。

F . 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G . 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H . 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし